

川渡フィールドセンター：公開講義・公開実習のお知らせ

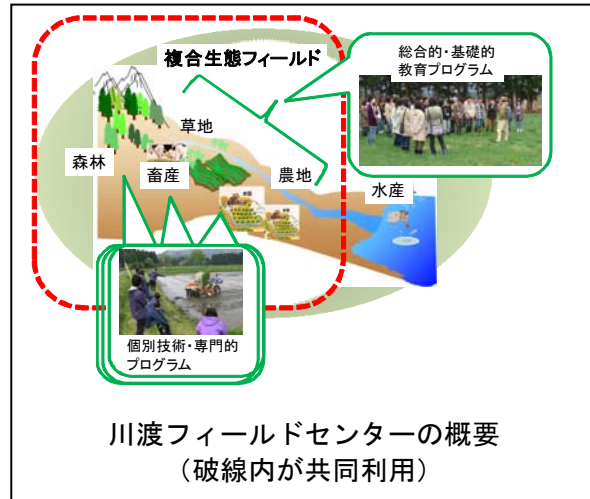
川渡フィールドセンター(複合生態フィールド教育研究センター陸域生産部)では、本センターを利用した教育プログラムを、広く他大学の学生に提供しています。

平成23年度は、下記の集中講義・実習を開講します。これらの科目の修了者には所定の単位を認定します。また、「学都仙台単位互換ネットワーク」に所属する大学の学生は、申請によりそれぞれの大学の単位として認定されます。

それ以外の大学等についても、特別聴講学生として本学農学部へ事前に必要な手続きをすることによって、単位認定が可能です。

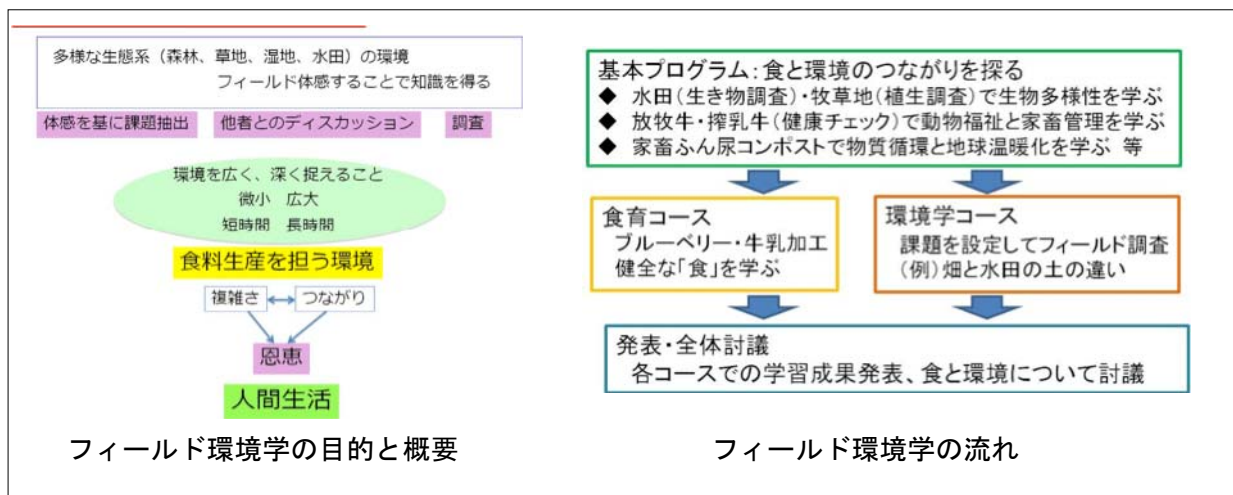
また、本学学生の科目として実施している実習科目について、他大学の学生の履修も可能となっています。また、川渡フィールドセンターでは、さまざま実習プログラムを通して他大学の教育のお手伝いもしております。

詳しくは近日中に本サイトでお知らせいたします。



実習プログラム

1. レディメイド型フィールド講義・実習プログラム
センターが新規に提供用に作成したプログラムです。



(フィールド環境学)

農学を主たる専門としない学部学生を対象に、受講学生の知識と興味に応じて、講義の中に以下のコースを設けています。(1) 食育コース：本センターで生産される農畜産物の加工体験を通して「食育」を学びます。(2) 環境学コース：環境科学に関心のある学生を対象とし、自ら課題を設定しフィールド調査を行います。

(複合生態フィールド科学専門実習)

農学、生命科学、環境科学等を専攻する本学及び他大学の大学院生農業生産に関わる水田、畑、放牧草地、森林などの環境についてフィールドでの専門的実習を通して、広く生物生産を巡る環境についての専門的理解を深めます。

2. オーダーメイド型フィールド講義・実習プログラム

センターで実施可能なフィールド講義、実習等の素材を提供し、他大学教員の教育目的に沿う実習プログラムとなるよう支援するプログラムです。

3. ギャザリング型フィールド講義・実習プログラム

本学の教育科目として実施中の講義・実習に他大学の学生が加わります。他大学学生にとって、教員から教育を受けるに留まらずに、東北大学の学生と交わることで、大学及び専門分野が異なる同世代から学ぶことも少なくない。東北大学の学生にとっても同様のメリットがあるプログラムである。



お問い合わせ先：
東北大学大学院農学研究科
附属複合生態フィールド教育研究センター
事務部 総務係
TEL 0229-84-7312
e-mail far-syom@bureau.tohoku.ac.jp